

第98回 理事会（平成17年度第8回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成18年2月7日（火）19:00～21:00
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館2階2研修室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事：（副会長）古郡 敬一、野地 澄雄、山田 隆
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）三塚 康雄、上田 英之、菊地 富士夫、越前谷 芳隆
（理事）柴田 秀一、本田 衛義、徳本 進、佐々木 生道、長久保 巖、
川田 光代、清水 忠、木村 徳善、百海 廷、平沢 幸一、
栗田 謙悟、斎藤 幸雄、吉岡 去私、
欠席理事：（会長）河野 洋平
（常務理事）渡辺 三郎
（理事）岡本 洋一、菊地 勇二
4. 出席監事 井駒 利一、木村 信吉
5. 議長選出 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出 清水 忠理事、栗田謙悟理事を選出
7. 書記 小田原 恭一広報委員を指名
8. 議 事

1) 教育本部関係

(1) 報告事項

木村、清水両理事より、下記行事（配布別紙参照）に関して報告がなされ、了承された。

①南関東ブロック研修会

期日：12月2日（金）～4日（日） 会場：車山高原スキー場

SAJ立会理事：杉崎寿三男教育本部理事

主任講師：山田隆広報委員長、Nデモ：柏木義之、松田富士人、イグザミネーター：柳橋泰久

出席者：SAK専門委員65名、パトロール研修会も同時開催2名

②第26回 北海道スキーツアー

期日：12月13日～18日（日） 会場：北海道

・総務本部より報告

③車山Ⅰ行事（指導員研修会／検定員クリニック）

期日：12月24日（土）～25日（日） 会場：車山高原スキー場

参加者：292名、役員：26名

・閉会式後、ホテル送迎バスでホテル到着時に古林専門委員はバスから降車時、木の枝に目が触れて負傷した。目が痛いので病院へ行った所、目の中にトゲが入り、3回通院して取った。その後の車山行事でスカイパークホテルより報告があり、本人も完治して支障がないとの事なので、再度事故が発生しないように木の手入れを行うことをホテル側に申し入れして、本人とホテル側で和解した。

④野辺山行事（指導員研修会／検定員クリニック）

期日：1月7日（土）～8日（日） 会場：レーシングキャンプ野辺山

参加者：151名、役員：10名

⑤五竜行事（指導員研修会／検定員クリニック他、SB、パトロール、HC）

期日：1月13日（金）～15日（日） 会場：白馬五竜スキー場

参加者：501名、役員：51名

⑥車山Ⅱ行事（神奈川・千葉共催技術選）

期日：1月21日（土）～23日（月） 会場：車山高原スキー場

参加者：402名、役員：18名

⑦ガーラ湯沢行事

期日：1月27（金）～29日（日） 会場：ガーラ湯沢スキー場

参加者：スキー51名、SB10名、役員：7名、SB3名

・初めての会場は、アクセスも良くスキー場の対応も大変良くて参加者には好評であった。

⑧五竜Ⅱ行事（指導員養成講習会、専門委員強化）

期日：2月3（金）～5日（日） 会場：白馬五竜スキー場

参加者：養成講習会62名、強化13名、役員：9名

⑨韓国行事（指導員研修会／検定員クリニック、養成、県民スキー）

期日：2月2日（木）～5日（日） 会場：韓国ドラゴンバレー

・総務本部より報告

（2）審議事項

①第43回全日本スキー技術選手権大会派遣選手について（別紙）

清水理事より、神奈川県代表は男子上位8名、女子5名、リザーブ男女各1名を選出した旨の提案がなされ、承認された。本選に向けての強化合宿は、2月18日（土）～20日（月）に、苗場スキー場で開催予定との報告があった。

②車山行事Ⅳ 準指導員検定会班編成について（別紙）

清水理事より、3月車山Ⅳ準指導員検定会の受験者が135名で、2班編成で実施する。検定員は8名＋ジャッジ研修2名とし、同時開催のBC級公認検定員検定会の検定員3名と合わせて提案がなされ、承認された。片専務理事から準指導員検定会の主任検定員は清水理事、BC級公認検定員検定会の主任検定員は木村理事を任命することと、さらにスノーボード行事も同時開催されるので、事前打合せを行ない、怪我のないように運営することの指示がなされた。

③五竜行事Ⅲ プライズテスト検定員について

清水理事より、五竜Ⅲ行事のクラウン・テクニカルプライズテストの検定員は、木村理事・大淵専門委員・岡本専門委員が担当する旨の提案がなされ、片専務理事から主任検定員は木村理事を任命することにより、承認された。

2）競技本部関係

（1）報告事項

①菊地本部長より、下記行事（配布別紙参照）に関して報告がなされ、了承された。

・フリースタイル競技

イ）SAJ-B級公認第7回神奈川県モーグル競技会

期日：1月27日（金）～28日（土）

参加者：157名、役員：11名

・ノルディック競技

イ）ノル合宿フレッシュマン講習会

期日：12月29日（木）～1月2日（月）

参加者：30名（28名）、役員：4名（4名）

ロ）第64回神奈川県スキー選手権

期日：1月2日（月）～3日（火）

参加者：21名（18名）、役員：6名（5名）

ハ）南関東ノルディック競技会、第61回国体スキー神奈川県選考会

期日：1月20日（金）～22日（日）

参加者：47名（36名）、役員：6名（5名）

・アルペン競技

イ）第4回チャレンジカップキャタピラー三菱大会

期日：12月23日（金）～25日（日）

参加者：延べ300名、役員：7名

ロ）アルペンジュニア合宿

期日：12月27日（火）～30日（金）

参加選手：21名、コーチ：2名

ハ）第7回神奈川県ジュニアスキー及び第4回神奈川県マスターズ

期日：1月20日（金）～21日（土）

参加選手：ジュニア166名、マスターズ157名、役員：7名

二) 県民大会、国体選考会、スーパーG

期日：1月22日(日)～24日(火)

参加選手：延べ898名、役員：7名

ホ) 第4回チャレンジカップ岩岳大会

期日：1月27日(金)～29日(日)

参加選手：延べ206名、役員：9名(12名…HC含む)

ハ) 競技力向上選手強化合宿

期日：2月3日(金)～5日(日)

参加選手：8名、役員：2名

・スノーボード競技

イ) FIS公認第11回神奈川県スノーボード選手権大会他

期日：1月13日(金)～15日(日)

参加選手：102名、役員：4名

・参加者少なくキャンセルしたいが、全日本の世界選手権の選考を兼ねているので、実施してほしいとSAJから要請あり、会場費を交渉・削減し開催した。

・派遣事業

イ) 全国中学校・全国高等学校スキー大会神奈川県予選会

期日：1月3日(火)～7日(土)

派遣者：菊地富士夫競技本部長

ロ) 全国中学校スキー大会への派遣

期日：2月3日(金)～8日(水)

派遣者：中田圭専門委員

ハ) 第61回国体スキー競技会結団式

期日：2月9日(木)

出席者：山田副会長、片専務理事(県連代表)

②神奈川県総合体育大会の準備状況について

栗田理事より、県総体の事前打合せを1月14日にスキー場にて役員と行なった。今年はノルディック競技がスノーハープに移り、輸送が問題となるのでスキー場側は、シャトルバスを運行して万全の体制をとることになった。本部宿舎が『ヴィラ雷鳥』です。五竜スキー場の下田校長より、大会スケジュールについて、初日にクロカンリレーを行ない、2日目のアルペン終了後に、閉会式を行なうことを提起されたが、今年はすでにスケジュールは決まっており、来年度への検討事項とすることの報告があり、了承された。また、県連役員人数については、県総体はミニ国体という扱いになるので副会長2名とし、計6名で運営していくことで了承された。さらに今年はレフリーを協会より選出することで了解いただき、相模原市協会へ依頼し選出することの報告があり、了承された。

③体協モデル事業のヒヤリングについて

菊地本部長より、県体協からモデル事業のヒヤリングが行なわれ、SAKが組織で取り組んでいる旨の報告があり、了承された。

(2) 審議事項

①第61回国体スキー競技会神奈川県代表選手・役員について(別紙)

菊地本部長より、第61回国体スキー競技会神奈川県代表を別紙のとおり、代表選手及び役員の推薦提案がなされ、承認された。

②駅伝大会開催日の順延について

平沢理事より、5月14日(日)開催予定の第7回クラブ対抗駅伝大会について、相模原市のお祭り開催で会場が使用出来ないため、開催日を5月21日(日)に順延したい旨の提案がなされ、承認された。平沢理事より開催日変更については、SAKホームページに変更案内を載せるよう総務本部に依頼があり、了承された。

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

①慶弔関係について

上田本部長より、三浦敬三氏の死去に際し、弔電を打ったとの報告があり、了承された。

②資金運用状況について

上田本部長より、1月度現預金残高が23,851,662円で、昨年は24,594,215円で若干減少したが、岡本理事のコメントでは大きな問題はないとの報告があり、了承された。

次に、12月21日に会計のプリ監査を実施したが、その指摘事項を別紙にまとめてあり、各行事への指摘はそれぞれコメントを貼付け、監事の所見についての対応は次回の監査会で確認する旨の報告があり、了承された。

井駒監事より、食事代の支給について規程に合っていないものが見られる。これは、報告書に何時から作業始めたのか記載がない為、支給されないことがあり明確にすべきだと思いますとの指摘に対し、上田本部長より、食事時間帯に引っ掛かると支給されることになり、そうでない出不い問題も含めて規程を改訂することで総務本部で案をつくり検討しますとの回答があった。

③登録状況について

長久保理事より、12月末日現在下表の通り報告があり、了承された。

会員登録	SAK16年度	一般5576名	総数6168名
	SAK17年度	一般5522名	総数6077名
団体登録	新規登録5（横浜3川崎1座間1）		総数271

④HC委員会

越前谷事務局長より、別紙のとおり3行事に関して報告があり、了承された。

イ) ハンディキャップセミナーⅡ

期日：1月13日（金） 会場：白馬五竜スキー場

参加者：12名、役員：3名、

内容：別紙報告書参照

ロ) 第7回障害を持つ方のためのスキー教室

期日：1月14日（土）～15日（日） 会場：白馬五竜スキー場

参加者：14名、講師：HC委員、現地ボランティア他

内容：別紙報告書参照

ハ) 第4回障害を持つ方のためのスキー大会

期日：1月28日（土）～29日（日） 会場：白馬岩岳スキー場

参加者：回転競技7名、大回転競技8名、

内容：別紙報告書参照

次に賛助会費について、2月1日現在259000円集まっているとの報告があり、了承された。

さらに3月の車山行事Ⅴのスキー教室の準備中であるが、参加者少ないと取止める方向にあることの報告があり、了承された。

⑤規約規程委員会

徳本理事より、規程の見直し改訂につき更新準備中との報告があり、了承された。

⑥電子申込み委員会

徳本理事より、1月末日までの利用状況では教育・競技本部とも多くの方が利用している。参加費の本部毎の配分を行なう予定との報告があり、了承された。

⑦協賛拡大委員会

長久保理事より、協賛入金状況は合計金額196万円で、現協賛総額330万円の59%であり、追加請求をしていく。次に丸菱産業（低周波治療器サンマッサー）との契約を早急に結び、研修会場での販売バックの方法を本部長と決めたい。それから環富士山技選への物品協賛案内を1月末に発送しているとの報告があり、了承された。

上田本部長からは丸菱産業の低周波治療器サンマッサーは、車山・野辺山・五竜会場で36台販売し、広告料10万との合計46万円頂ける。今後は車山Ⅴ行事でPR予定しているが、購入した方からは評判良く悩んでいる個所には非常に良い治療器であり、完全に直る訳ではないが軽減する。是非競技本部へもPRしたいので、説明時間と試せるコーナーを検討してほしいとの依頼があった。

⑧普及振興委員会

佐々木理事より、1月31日に委員会を開催し、行事パンフレットを作成してあり、横浜・県央の小・中学校へ集中的に配布して、3月上旬まで頑張り参加者を集める活動をしていくとの報告があり、了承された。

野地副会長から、現在6名参加者いるが、最終決定はどのようにするのか、また協会と行事がバ

ッティングして混乱するのではとの質問に、上田本部長より、横浜・県央地区に絞ってパンフレットを配布し締切日まで集客に努めたい。県連パンフレットに各協会のジュニア行事を併記することを次年度は考慮したいとの回答があった。

⑨北海道委員会

佐々木理事より、12月の北海道スキーツアーは参加者326名、役員38名の計364名で昨年より20名弱増えた。千葉県連からの参加者が無い分含め良く頑張ったと思います。参加者からのアンケートの集計も完了してますとの報告があり、了承された。

⑩韓国行事について

上田本部長より、韓国スキーは参加者16名で研修会7名、県民スキーのバッジテストを実施した。外に出るとマイナス20℃で非常に寒い印象が残っていますとの報告があり、了承された。

⑪大会保険について

川田理事より、各行事担当者は行事開催中に事故が発生した場合は、あいおい損保の小林氏に電話して対応を打合せしてください。大会終了後に参加人数の連絡をお願いしますとの報告があり、了承された。

⑫平成17年度神奈川県体育功労者の表彰について

越前谷事務局長より、1月21日（土）に平成17年度神奈川県体育功労者の表彰式があり、当県連より柴田伸彦参与が表彰されました。併せてSAKホームページに掲載をしますとの報告があり、了承された。

（2）審議事項

①役員選出スケジュールについて

越前谷事務局長より、役員選出のための選考委員の提出案内を1月末に各協会長宛てに発送しました。提出期限が2月24日で、第1回役選委員会を3月8日に県社会福祉会館で開催予定です。役選委員は26名（評議員の過半数）で、第2回を3月下旬、第3回を4月上旬に開催予定です。4月上旬までには次期役員を決めるように予定していることの提案がなされ、承認された。片専務理事から、4月上旬で県連役員が選ばれて引き継ぎを1ヶ月半で行ない、5月末の評議員会で選出されますので、皆さんも承知してください。

②海外スキーツアーの中止について

上田本部長より、3月に計画していた「2006SAKオレゴンスキーツアー」は、参加者ゼロにより中止とすることの提案がなされ、承認された。

③有資格者の研修会免除について

長久保理事より、前回の理事会で研修会免除申請が出ていましたが、氏名・クラブ等が未整備でしたので、一覧に整理しましたので確認願いますとの報告があった。（前回承認済）

4）その他

①SAK専門委員の選出について

片専務理事より、来期の教育本部の専門委員選出では人員を絞りたいと思います。協会推薦にプラス地域性を考えてお願いしたい。競技本部は運営効率を工夫しているので減らすことはしないが、後輩の育成をお願いしたいと述べられた。山田副会長から協会枠以外の取扱い及び専門委員の人数減により予想される混乱への配慮をお願いする旨の要望があり、片専務理事より協会枠で入らない人は、県連執行範囲の中で推薦したい。また県連組織運営に混乱を来すような言動をする人は外れていただく。いずれも協会長とコンタクトをとりながら進めていくことの回答があった。

②押川顧問への対応について

野地副会長より、押川顧問から県連運営にお手伝いしたいとの申し入れがあった。内容は県教育庁と連携を取りTV放映に力を貸したい等色々な場所より情報が入っているが、県連としては、一度、押川顧問とお会いして話し合いの場を設けたい。県連側は野地と片専務理事が対応することを了承願いたいとの提案があり、了承された。

③井駒監事からのコメント

専門委員の業務範囲を規程化しておくこと。立場を明確にして執行部内で意見統一してください。競技本部の岩岳行事参加者が減となったが、丁度、県総体の予選会を各市協会が開催しているので、この期間は予選会期間として空白にすることも考慮してみてもいいかなあと感じていますのでご検討ください。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成18年 2月 17日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印